

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスWeppy		公表日		R8年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動エリアを工夫して適切な環境を作るように心掛けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		利用者様の様々なニーズに対応できる人数を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		指導訓練室内の物を少なくしている。子どもが入ってはいけない部屋には、Xのマークを付け分かりやすくしたり簡単な分かり易い言葉で指示を伝えたり、絵や写真等を用いるようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		施設内は毎日清掃し、朝・昼・夕のアルコール消毒、手洗い・手指消毒の徹底、次亜塩素酸 空間除菌・脱臭機『ジアイーノ』の活用や毎日の徹底した掃除で生活空間は清潔に保たれている。 AIスピーカーを導入し場面に合った適切な音楽を流している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		毎日の終礼時に話し合いを行っている。また毎月職員会議を行い、利用者様の状態の把握を職員全員で行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日終礼時にその日の利用者様の様子を報告して、スタッフ全員が周知し、次回利用日の支援に活かせるように努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		事業所内で自己評価を行い、その結果と保護者様からの評価を合わせて、今後の支援をより良いもの出来るように全スタッフで検討したものを、ホームページを活用し保護者の方には周知しております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日終礼時にその日の利用者様の様子を報告して、スタッフ全員が周知し、次回利用日の支援に活かせるように努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	今後必要があれば検討していくつもりです。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		部内外研修への参加はもちろん自己研鑽に努めている。責任者からもその時に応じての課題について話し合う場も設けており、日々の利用者様の変化にも素早く対応できるようにしております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		アセスメントシートを活用しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		児童発達支援ガイドラインに則り、利用者様一人一人の個性を把握し、支援内容をスタッフ全員で話し合って設定しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画に沿った支援を行うように意識しながら支援を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に沿った支援を行うように意識しながら支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		季節に合ったものを取り入れたり、利用者様一人一人に合わせて工夫しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援ガイドラインに則り、利用者様一人一人の個性を把握し、支援内容を設定しています。状況に応じて、一人になる時間を作ったり、スタッフと1対1で関わる活動をするなど工夫して計画を作成している。利用者様の特性に合った計画を立案し作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		スタッフ全員で話し合って活動プログラムを決定しています。日々の子供たちの様子を見ながら活動内容を変更し、固定化しないようにしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎日終礼時にその日の利用者様の様子を報告して、スタッフ全員が周知し、次回利用日の支援に活かせるように努めています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別支援記録用紙を活用し、日々の活動の記録を残して、振り返りが出来るようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		終礼時にその日の気になる様子などを話し合い、翌利用日の支援内容に盛り込み全スタッフが内容を確認して実施しています。また、事前に打ち合わせを実施し確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		もちろんですが、担当者会議には最も相応しい者が参加しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		関係機関と綿密な連携を回り支援しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングは実施しています。その結果を活かし計画の見直しを検討しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		もちろんですが、担当者会議には最も相応しい者が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要な都度、保育所や幼稚園、特別支援学校の教諭・生活指導員等と連携を回り、情報の共有を行い、支援内容の相互理解に努めております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要な都度、保育所や幼稚園教諭等と連携を回り、情報の共有を行い、支援内容の相互理解に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要な都度、保育所や幼稚園、特別支援学校の教諭・生活指導員等と連携を回り、情報の共有を行い、支援内容の相互理解に努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	子ども支部会へ参加し情報共有を行っています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	保護者様との直接の相談はもちろん、連絡ノートの活用や送迎時にも相談支援を行うようにしております。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡ノートを活用、また送迎時にも声掛けを行って保護者様との共通理解が出来るように努めております。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	お家での様子を聴いたり、困りごと等の相談を受けた際にペアレントトレーニング行っております。保護者様との直接の相談はもちろん、連絡ノートの活用や送迎時にも相談支援を行い、迅速かつ丁寧な対応を心掛けております。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		ご契約時に可能な限り丁寧にご説明するようにしております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		支援内容について保護者様にも分かり易く説明を行っていくようにしております。また書面にて説明をし、同意を得るようにしております。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		支援内容について保護者様にも分かり易く説明を行っていくようにしております。また書面にて説明をし、同意を得るようにしております。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者様との直接の相談はもちろん、連絡ノートの活用や送迎時にも相談支援を行うようにしております。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	今後はご家族の意向などを踏まえて、イベント等を活用し、保護者様の交流をしていこうと考えております。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7	保護者様との直接の相談はもちろん、連絡ノートの活用や送迎時にも相談支援を行い、迅速かつ丁寧な対応を心掛けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		7	『Weppyだより』を作成している他、InstagramやSNSにて保護者様との連絡体制を取っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		7	十分に留意して取り扱っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		7	連絡ノートを活用、また送迎時にも声掛けを行うようになっています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	小規模事業所のため、地域の方が参加できるような大規模な行事は行っておりません。今後も行いません。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7	マニュアルは作成して、保護者様・職員併せて周知するようしております。訓練は年に1回、9月に行う計画です。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		7	年に一回、防災訓練を実施しております。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		7	ご契約時やアセスメントシート・受診毎に保護者様へ聞き取りを行い、把握するようしております。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	食物だけでなく、アレルギーがある利用者の情報は全スタッフへ必ず周知してあります。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		7	利用児童が安心して利用できるように、リスクマネジメントを行いながら日々支援しております。	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7	利用児童が安心して利用できるように、リスクマネジメントを行いながら日々支援しております。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		7	ヒヤリハットの作成を行い、発生の都度事業所内で共有するようしております。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		7	部内外での虐待防止研修に参加するようしております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		7	玄関や出入り口の施設以外では、基本的には身体拘束は行わないようしております。また支援計画に記載し、十分に説明・了解を得た上で実施するようになっています。		